(令和6年4月1日現在)

施製物變

施設名		開館時間	
		公民館業	務 午前9時~午後9時
	学習等供用施設 (通称:冨士センター)	児童館業 図書館業 老人憩の	務 午前9時~午後5時
所在地	〒270-1432 白井市冨士239-2	併設施設	児童ルーム・図書室・老人憩の家 第三小学校区地区社会福祉協議会 第三小学校区まちづくり協議会
TEL	0 4 7 - 4 4 6 - 1 9 1 1	FAX	0 4 7 - 4 4 6 - 2 6 7 7
メール	<u>fu</u> j	i270-1432@au	rora.ocn.ne.jp
休館日	月曜日・国民の休日 12月29日~翌年1月3日	駐車場	27台(内1台障害者専用) 臨時駐車場15台
職員構成 R5年4月現在	正職 センター長1人 事務職2 (非)事務職2人 児童厚生員1		人 B務員2人 夜間管理2人 合計14人
	1時間あたりの施設使用料(社施設名 定員	上会教育認定団体に	は2分の1) 付帯設備
	集会室 20名	350 円	長机10台・椅子30脚
(0, 1, 1, 2,	休養室(2) 36 名	3 3 5 0 円	長机15台・椅子20脚 座卓12台・姿見2枚・座布団50枚
貸出施設	調理室 24 名	720 円	調理台4台・丸椅子24脚・冷蔵庫2台 電子レンジ2台・ガス炊飯器1台
	視聴覚室 20名	4 780 円	長机15台・椅子40脚・ピアノ1台 テレビ1台・ビデオデッキ1台
	大集会室 100名	3 970 円	長机36台・椅子150脚 移動ステージ1セット・卓球台5台
貸し出し 可能備品	CDラジカセ・机・椅子・テント 電子ピアノ	音響システム・『	卓球セット・バトミントンセット

令和5年度 公民館等団体別利用状況 (学習等供用施設冨士センター)

種別	青少	少年	成	人	女	性	高齫	恰者	そ 0)他	個	人	合	計
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	15	238	66	770	29	296	0	0	28	350	14	75	152	1,729
5	11	215	62	627	29	264	0	0	23	335	20	135	145	1,576
6	13	164	61	604	36	383	0	0	36	647	13	74	159	1,872
7	13	208	64	707	34	324	1	16	43	985	16	84	171	2,324
8	11	189	51	559	17	203	1	5	24	486	21	157	125	1,599
9	10	135	49	460	33	336	1	16	54	2,343	23	80	170	3,370
10	14	193	56	504	30	318	0	0	39	934	26	118	165	2,067
11	12	146	55	506	30	296	0	0	40	741	34	121	171	1,810
12	9	137	51	502	29	276	1	11	28	686	18	136	136	1,748
1	13	265	52	511	30	261	1	19	31	423	17	62	144	1,541
2	9	114	50	514	32	328	1	11	34	621	23	86	149	1,674
3	15	227	60	681	33	337	1	12	55	972	28	104	192	2,333
合計	145	2,231	677	6,945	362	3,622	7	90	435	9,523	253	1,232	1,879	23,643

の合計が必ず一緒になるように 各部屋の年間利用率を記入する欄を追加しましたので忘れずに記入してください。 年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和5年度部屋別利用件数·利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
集会室	404	3,412	29.8
休養室2	359	4,299	28.0
調理室	98	1,283	11.6
視聴覚室	225	2,500	14.9
大集会室	793	12,149	57.9
合 計	1,879	23,643	

令和5年度 学習等共用施設 事業報告

1 運営方針

(1)全体の運営方針

・地域住民が集まり学習等共用施設を運営する為に立ち上げた団体として、地域との繋がりを生かし、地域住民のニーズを捉えた学習や健康増進、趣味などの講座の開催や地域団体の育成・支援、「子どもの居場所」、「高齢者の居場所」として気軽に集える場の提供を通して地域連携の輪を大きく広げ、人との交流と支え合いを育んでいく。

(2) 分野別方針

	運営目標
	①育児や子育てについて学び、悩みや不安を解消する場を提供する。
会成数去	②子どもたちの視野を広げ、社会性や協調性を育む。
家庭教育 (1)	③育児の悩みや不安等を気軽に話し合える子育て世代の交流の場を提供
(1)	する。
	④講座等を通して親子のコミュニケーションを深める。
	①学習・体験活動を通して視野を広げ、「知る」楽しさを学ぶ。
青少年教育	②年齢にとらわれない子どもたちによる地域交流の場を提供する。
(2)	③講座等を通して様々な人との交流を促し、社会参加の促進に努める。
	④子どもたちが日常生活の基本を体験し、自立する力を身につける。
	①講座等を通して同じ趣味の人との交流の場を提供する。
成人教育	②生涯学習の楽しさを知る、世代を超えた学習の場を提供する。
(3)	③健康の保持や生きがいづくりをサポートし、健康寿命の延伸を図る。
	④自然に親しむ場を提供し、緑ある住環境の保全と推進を図る。
団体育成	①地域団体の活動をサポートし、団体の育成や連携を図る。
(4)	②市民や各種団体等の交流を推進し、活動の活性化を図る。
(4)	③より多くの市民が集う機会を提供し、地域の絆を深める。

(3) 令和5年度 重点的に実施した項目 (講座・事業など)

- ・市民の知識欲や生きがいづくりに沿った講座等を開催するとともに、地域の絆を深めていく。
- ・地域団体との連携による事業を実施し、団体の活性化、人と人との交流と支え合いを 育む。

2 学習等共用施設 講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級講座名		回数	参加人数
	ぴよぴよタイム	1234	10回	延べ204 人
家庭教育 (1)	喫茶室「みるく」	1234	7 回	延べ167 人
	親子ヨガ	1234	1回	8人
	ベビーリトミック	1234	1回	16人
	夏休みチャレンジ講座・絵画教室(2日間)・プログラミング教室(2日間)・パン教室	1234	全4回	延べ70人
	子どもクッキング	12	1 回	10人
青少年教育	冬休み書初め練習会	12	2 回	延べ20人
(2)	ふじセン秋まつり	123	1回	339人
	土器っと古代	12	1回	2 3 人
	詰将棋にチャレンジ	123	1回	6人
	将棋元アマ名人教室	12	1回	12人
	将棋体験教室(全3回)	123	3 回	5人
	囲碁体験教室(全3回)	123	3 回	5人
	防災教室(パッククッキング教室)	1234	1 回	11人
	クッキング教室	123	2 回	延べ16人
	フラダンス教室 (全2回)	123	1回	6人
	わたしと家族の「そうぞく」講座	13	1回	9人
	フレイル予防講座	13	1回	5人
	家庭菜園・園芸教室	1234	2 回	延べ22人
	ヨガ教室	123	1回	7人
成人教育	薬膳茶&ヨガ教室	123	3 回	延べ23人
(3)	レジンストラップ作り	12	1回	10人
	シニアのためのスマホ教室	12	3 回	延べ45人
	そば打ち体験講習	123	1回	8人
	シュトーレン教室	123	1回	16人
	普通救命講習会	123	1回	6人
	飾り太巻き寿司作り	123	1回	8人
	己書体験幸座	123	1回	10人

四丛女子	世代間交流(グランドゴルフ)	123	1回	40人
団体育成	冨士センター音楽祭	123	1回	220人
(4)	冨士クリスマスフェスタ	123	1 回	270人

(2) 講座以外に行った事業

- ・トイトイランド
- ・ハッピーハロウィーン
- クリスマス会
- ・体育館で遊ぼう
- 第33回冨士センターフェスティバル
- 美化交流会
- 映画鑑賞会
- 音楽鑑賞会
- 憩いのサロン
- ・ふじっこダイニング
- ・シニア食堂
- ・子ども居場所づくり(早朝あずかり)

(3)情報の提供

- ・開催事業情報等を掲載したセンターだより及び児童ルームだよりの発行
- ・市広報誌へのセンター開催事業情報等の掲載
- ・センターホームページへの開催事業情報等の掲載
- ・開催事業個別宣伝ポスターの作成
- ・センターだより、ポスター等の域内自治会回覧、小学校児童への配布、近隣店舗への掲示

(4) 施設の提供

- ・団体等に学習の場として施設を提供
- ・地域の会合や話し合いの場として施設を提供
- ・ロビーにパーテーションを設置し、人数制限をしたうえで開放(後にパーテーション撤去)
- ・地域団体の交流事業等に施設備品の貸し出し
- ・中高生に学習の場を提供

(5) 「with コロナ」「after コロナ」時代に向けた対応

- ・職員には、出勤前に体温設定、体調確認を推奨し、勤務中はマスクを使用
- ・玄関に体温測定器及び手指消毒液を設置、体温測定、手指の消毒を推奨
- ・入館時に連絡先の記載、マスクの着用(後に任意)
- ・施設利用者には、体温測定器及び備品消毒液を貸与(後に希望者に貸与)
- ・参加者の健康チェック、部屋の換気、使用後の備品消毒、参加者名簿の提出を依頼(後に任

意、廃止)

- ・窓口や事務室内に飛散防止用シートを設置(後に撤去)
- ・午前、午後、夕方の3回、職員による共有スペースを中心とした消毒作業を実施
- ・ロビー、児童ルーム、図書室、老人憩いの家等の主な部屋には空気清浄機を設置
- ・自主事業の開催時には、ソーシャルディスタンスの確保、換気等の感染予防対策を実施
- ・感染状況を見極めつつ、定員制限などの状況に即した感染予防対策を実施

3 事業の評価

(1) 分野別方針

	評価
	・子育て世代同士や子育て経験豊富なボランティアとの交流により、育
家庭教育	児や子育てについての悩みや不安を解消する場を提供できた。
(1)	・子ども同士が遊びながら交流することができた。
	・子育てによるストレスを解消する手助けができた。
	・自ら考え、作品を作り上げる喜びを知ってもらえた。
青少年教育	・参加者同士が交流し、協力し合うことができた。
(2)	・子どもたちが調理を実践することで、完成した喜びや調理の大変さを
	経験した。
	・趣味について知識を深め、同好の士との交流が図れた。
成人教育	・興味のあったテーマについてお試し体験する場を提供できた。
(3)	・健康を維持する方法について学んでもらえた。
	・新たな生きがいづくりを見つける手助けができた。
四仏玄卍	・サークルに成果発表の場を提供し、多くの観客が集まり、世代を超え
団体育成	た交流の場となった。
(4)	・ゲームを通して世代を超えた交流が図れた。

(2) 令和5年度重点的に実施した項目(講座・事業など)

評価

・市民の知識欲や生きがいづくりに沿った講座等を開催し、参加者同士の交流を図った が、自主サークル化などの積極的な交流までには至らなかった。

講座・学習プログラム【家庭教育】

	講座名	びよびよタイム		
	対象	乳幼児親子		
	募集人数	20組	参加人数	101組204人
1	事業の課題	員と目標		

- ・乳幼児を育てている親子が参加できる講座が少ない。・相談先がなく、子育てに不安を抱える保護者や、友だちのいない子どもが増えている。

- 目 標・普段とは違う環境で参加者同士の交流を図り、ネットワーク作りを支援する。 ・普段とは違う環境で参加者同士の交流を図り、ネットワーク作りを支援する。 ・育児の悩みや不安を解消し、親自身の成長や、子どもの視野を広げる。
 - - ・いろいろな遊びを楽しみながら、友だちと共に過ごす喜びを味わう。

児童ルーム	n==/	生会、製作、ゲーム	総額:45,475円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 45,475円
那		お湾	」
学習場所	児童厚生員	則定、:	长
3月	講師	身長体重済	日 :0日 50,000日
令和5年4月~令和6年3月	10回	親子体操、手遊び、手形、身長体重測定、お誕生会、製作、ゲーム	総額:50,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 50,
学習期間	回数	学習内容	英

事業参加者への配慮等

- ・季節を捉えた講座内容を考え、参加しやすいように心掛けた。
 - ・初めて参加した親子が不安にならないように声掛けをした。

事業の成果 (課題や目標に対して) ・参加者同土が交流を深め、友だち作りのお手伝いができた。

析 靊

講座名	喫茶室「みるく」			
対象	乳幼児とその保護者、地	地域住民		
募集人数	3 0 組		参加人数	延べ77組167人
事業の課題と 課 題	と目標			
・親子で同・地域の人	親子で同じ時間を共有する機会が減っている。地域の人との関わりが希薄である。	残っ ている。		
ョ標・地域の人	目標・地域の人と100人知り合いになろう。	č.		
学習期間	令和5年4月~令和6年	2月	学習場所	大集会室
回数	回 2	講師		
学習内容	手遊び、お誕生会、製作、ケーキを食べながら交流会	ケーキを	食べながら	交 消分
海	総額:40,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 40,	用:0用 40,000円	·	総額:30,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 30,000円
事業参加者・遊びの中	事業参加者への配慮等 ・遊びの中で子どもと一緒に楽しみな	がら、親子	や保護者同	事業参加者への配慮等 ・遊びの中で子どもと一緒に楽しみながら、親子や保護者同士の交流を図れるよう手助けをす

- 権に米しをほど 母のの子でナかる。

事業の成果 (課題や目標に対して)

- ・ボランティアと知り合いになることで、センターの中だけでなく地域でも挨拶が出来るよう になった。 ・地域で子育てを応援しているという安心感が持てた。

備 考 ・白井第三小学校区社会福祉協議会と共催

語	- 1 ×	#WK/	声 恕 •	ш • •	श्री	171	শ্বন	IT'	*	•	#
		4組8人			休養室2	施子さん	ズを選んで進めた。 環境で行った。	総額:5,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 0円	た。	環境でヨガを楽しめた。	
		参加人数		, %	学習場所	田村 純子	ョガのポーン を得られるJ	长	=掛けをした	こりとした選	
			とれない。	かる。 などを改善す		講師	聞いた上でミックス効果?	0 円 0 0 円 5,000円	やを用意し声	い、ゆった	
	乳幼児親子	8組	事業の課題と目標 課 題 ・育児中は運動する時間がなかなかとれない。	目 標・親子で一緒に楽しみながら絆を深める。 ・選子で一緒に楽しみながら絆を深める。 ・運動不足を解消し、肩こりや腰痛などを改善する。	令和5年11月	1 回	参加者に健康面の悩みを聞いた上でヨガのポーズを選んで進めた。 照明を落とし、よりリラックス効果を得られる環境で行った。	総額:10,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 5,0	事業参加者への配慮等 ・飽きてしまったお子さんにおもちゃを用意し声掛けをした。	事業の成果 (親題や目標に対して) ・先生から健康面のアドバイスをもらい、ゆったりとした環境でヨガを楽しめた。	
	対象	募集人数	事業の課題と目標 課 題 ・育児中は運動す	日 ・ 親子ふー ・ 運動不足	学習期間	回	学習内容	子	事業参加者・飽きてし	事業の成果・先生から	備考

講座名	ベビーリトミック		
対 衆	生後5カ月~未就園児親子		
募集人数	8組	参加人数	8組16人
事業の課題 課 題 ・親子で同	事業の課題と目標 課 題 ・親子で同じ時間を共有する機会が減少している。	ñ	
田 ・親子で目 ・参加者同	目 標 ・親子で目線を合わせ、歌を聴きながらたくさん触れ合い、絆を深める。 ・参加者同士の交流を深め、育児への不安やストレスを解消する。	ら触れ合い、 トレメを解:	. 絆を深める。 肖する。
学習期間	令和5年5月	学習場所	視聴覚室
回 数	1回 講師	NPO法/ リトミック	NPO法人日本子ども教育センター リトミック講師 柏崎真紀子さん
学習内容	ピアノに合わせてリズム遊び。触れ合いあそび。 スカーフや花紙を使った感覚遊び。	合いあそび	۰
予算	総額:10,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 5,000円	· 英	総額:5,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 0円
事業参加 孝 •保護者同	事業参加者への配慮等 ・保護者同士が交流しやすいような雰囲気作りをした。	をした。	
事業の成果・親子でコ	事業の成果 (課題や目標に対して) ・親子でコミュニケーションを取りながら、親子で楽しくリズム遊びができた。	子が楽しく	リズム遊びができた。
無			

講座・学習プログラム【青少年教育】

講 座 名	夏休みチャレンジ講座「絵画教室」	(2日間)	
対	小学2~6年生		
募集人数	各20人	参加人数	延べ39人
事業の課題と目	買り目標		

参加人数 小学生10人・保護者4人

夏休みチャレンジ講座「プログラミング教室」(2日間)

柘 榝

倒

艦 衣

小学生(1~3年生は保護者同伴)

10人

募集人数

事業の課題と目標

圍

點

- ・異学年と交流するきっかけが少ない。・自宅だと集中して描けない。

- ・自ら考え、作品を作り上げる喜びを知ってもらう。・作品に対する自分の見方や感じ方を深めることができるようになる。

集会室	智子先生	アイデアを学ぶ。	総額:20,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 20,000円 その他事業費 0円
学習場所	佐久間三智子先生	はき方、	长
令和5年8月	講師	夏休みの課題でもあるポスター絵画の描き方、アイデアを学ぶ。	総額:30,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 20,000円 その他事業費 10,000円
令和 5	2 回	夏休み	総額: ※うち 内訳:
学習期間	回数	学習内容	予算
₹P	凹	护	P

事業参加者への配慮等

- ・楽しい雰囲気で参加できるよう心掛けた。・アイデアが浮かばない子には館内図書室に一緒に行って参考にしてもらった。

- 事業の成果 (課題や目標に対して) ・自ら考え、作品を作り上げる喜びを味わえた。 ・全員が時間内に作品を作り上げることができた。

奔 備

予 算 ※ 20		趣 11	10,000円内訳:講師料 5,000円その他事業費26,700円
PNK: 講師科		11	内訳:講師料 5,000円 その他事業費26,700円
その他事業費 30,000円 これのの日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の子の子の子の子	E.	11 Ž	CON (1997) (19
]] }	その他事業費26,700円 (***********************************
事業参加者への配慮等 ・難しい内容だったので飽きないように休憩や、プログラミングお た。]] L	
・難しい内容だったので飽きないように休憩や、プログラミングおた。		11	
£.	18, JU/	7,1	、ソンなもしやい耐や中国的限に

総額:35,000円

総額:31,700円 ※うち参加者負担金

電子工作研究会のみなさん

盂

灩

Π

羧

П

大集会室

学習場所

令和5年8月

学習期間

目 標・参加者同士が協力しながら粘り強く作品を作り上げ達成感を得る。

・プログラミングを学べる環境が少ない。

パソコンでプログラミングをして自分で作った車を走らせる。

学習内容

- 事業の成果 (親題や目標に対して) ・ゲーム感覚でできたので楽しく学ぶことができた。 ・参加者同士で意見を出し合い、協力して作品を作り上げることができた。

析 靊

講座名	夏休みチャレンジ講座「パン教室」			離	座名	子どもクッキング
対終	小学生(1~3年生は保護者同伴)			衣	≪	小学3~6年生
募集人数	10人	参加人数	参加人数 小学生10人・保護者7人		募集人数	10人
事業の課題課題・食への関・共働きのご	事業の課題と目標 課 題 ・食への関心が薄れてきている。 ・共働きの家庭が多く、親が子へ料理を教える機会が減ってきている。	機会が減っ	かんいろ。	雅··· 譜···	事業の課題 課 題 ・食への関 ・井働きの)	事業の課題と目標 課 題 ・食への関心が薄れてきている。 ・共働きの家庭が多く、親が子へ将
- 経験, a - 料理の[目 標・経験、感覚を培い、自己肯定感を高める。 ・料理の関心や興味を高める。			□ · ·	藤 当分 記 る 記 本 記 下	目 標・自分で調理することで料理の楽し・参加者同士の交流を図る。
学習期間	令和5年7月	学習場所	調理室	洲	学習期間	令和6年2月
回	1回 講 師	田村純子先生	七 生	□	教	1回
华習内容	動物パンを作る。			补	学習内容	バレンタインのプレゼン
斯	総額:15,000円 ※うち参加者負担金2,000円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 10,000円	光	総額:8,749円 ※うち参加者負担金2,000円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 3,749円	P	趣	総額:15,000円 ※うち参加者負担金3, 内訳:講師料 5,00 その他事業費 10
事業参加: ・怪我の; ・楽しく	事業参加者への配慮等 ・怪我のないようサポートした。 ・楽しく参加できる雰囲気作りをした。			新 . .	業参加者 圣我のな 終しく参	事業参加者への配慮等 ・怪我のないようにサポートした。 ・楽しく参加できる雰囲気作りをし
事業の成 ・家に持 ・手作りの	事業の成果 (課題や目標に対して) ・家に持ち帰り家族に食べてもらうことで大きな喜びや自信に繋がった。 ・手作りの美味しさを再確認してもらうことができた。	な喜びや自 できた。	旨に繋がった。	新· 东	業の成果	事業の成果 (課題や目標に対して) ・楽しく協力し合って調理すること
				脚	析	

講座名	子どもクッキング		
対象	小学3~6年生		
募集人数	10人	参加人数	10人
事業の課題と課題食への関心・共働きの家	事業の課題と目標 票 題 ・食への関心が薄れてきている。 ・共働きの家庭が多く、親が子へ料理を教える機会が減ってきている。	機会が減っ、	てきている。
日 標・自分で調・参加者同	目 標・自分で調理することで料理の楽しさを実感してもらう。 ・参加者同士の交流を図る。	ん も ひ っ ひ	
学習期間	令和6年2月	学習場所	調理室
回数	1回 講 師	田村純子先生	5生
学習内容	バレンタインのプレゼントにもなるアイスボックスクッキーを作る。	アイスボッ	クスクッキーを作る。
产	総額:15,000円 ※うち参加者負担金3,000円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 10,000円	长	総額:12,765円 ※うち参加者負担金3,000円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 7,765円
事業参加者 ・怪我のな ・楽しく参	事業参加者への配慮等 ・怪我のないようにサポートした。 ・楽しく参加できる雰囲気作りをした。		
事業の成果・楽しく協	事業の成果 (課題や目標に対して) ・楽しく協力し合って調理することができた。		
備考			

講座名	冬休み書き初め練習会		講座名	ふじセン秋まつり
対象	小学3~6年生		対	市内在住者
募集人数	各10人	参加人数 延べ20人	募集人数	自由参加
事業の課題 課 題 ・冬休みの	と目標 宿題でもある書き初めだが、	自宅だと集中して書けない。	事業の課題 課 題 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業の課題と目標 票 題 ・地域交流の場があまりない。
目 標・集中力を ・講師の7	目 標・集中力を高める。 ・講師のアドバイスを基に改善点を確認しながら練習をする。	ら練習をする。	n ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目 標・子どもたちに楽しむ場を提供す・地域交流、世代間交流を通して
学習期間	令和5年12月	学習場所 大集会室	学習期間	今和5年9月
回数	2回 講師	官本志保先生、公民館職員	回	1回
学習内容	冬休みの宿題の書き初めを仕上げる。		学習内容	昔遊び、射的、工作、 アウト等、遊びを通し
产	総額:15,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 10,000円 その他事業費 5,000円	総額:10,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 10,000円 その他事業費 0円	序	総額:50,000円 ※うち参加者負担金: 内訳:講師料 0円 その他事業費 5
事業参加者 •参加者力	事業参加者への配慮等 ・参加者が集中できる環境づくりをした。		事業参加・ボラン・温を	 事業参加者への配慮等 ・ボランティアを頼んで子どもた 混雑するブースは列を予め作成
事業の成身 ・全員が問 ・講師の戸	事業の成果 (課題や目標に対して) ・全員が時間内に作品を仕上げることができた。 ・講師の声掛けもあり、意欲的に取り組むことが出来た。	以出来た。	事業の成・ ・ たくな・ ・ 昔遊び	事業の成果 (課題や目標に対して ・たくさんの子どもたちが来場し ・昔遊びでは世代間交流もできた
備考			龍	
			_	

講座名	ふじセン秋まつり		
女	市内在住者		
募集人数	自由参加	参加人数	3339人
事業の課題 課 題 ・地域交流	事業の課題と目標 票 題 ・地域交流の場があまりない。		
ョ 練・・ナビウな・ 古数交流	目 標・子どもたちに楽しむ場を提供する。 ・子どもたちに楽しむ場を提供する。 ・地域交流、世代間交流を通して輪を広げる。		
学習期間	令和5年9月	学習場所	大集会室 休養室 2 視聴覚室 調理室 学習室
回	1回 講 師		
学習内容	昔遊び、射的、工作、スーパーボールすくい、ピンポンカップイン、ストラックアウト等、遊びを通して地域交流、世代間交流をする。	-ルすくい、 世代間交流	ピンポンカップイン、ストラック をする。
子	総額:50,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 50,000円	決算	総額:77,469円 ※うち参加者負担金 24,400円 内訳:講師料 0円 その他事業費77,469円
事業参加者・ボランラ・混雑する	事業参加者への配慮等 ・ボランティアを頼んで子どもたちに目が届くようにした。 ・混雑するブースは列を予め作成しておいた。	ようにした。	
事業の成果 ・たくさん ・昔遊びて	事業の成果 (課題や目標に対して) ・たくさんの子どもたちが来場し、楽しんでもらえた。 ・昔遊びでは世代間交流もできた。	らえた。	
龍水			

講座名	土器ッと古代		
対象	市内在住の小学生 (保護者も可)		
募集人数 20人	20人	参加人数 23人	23人
事業の課題と目標 課 題	10000000000000000000000000000000000000		
古代歴史	・古代歴史に触れる機会があまりない。		
便利な社・災害時対	・便利な社会になり、物の大切さがあまり理解されていない。・《集畦対策などで、まき畦件の生徒を目直すべきが更がなる。	なれていない。	° K

Ш

- ・古代の歴史を知り、興味を持ってもらう。・古代人の生活の大変さを体験して、今の生活の便利さを認識してもらう。

学習期間	令和5年7月		学習場所 大集会室	大集会室
回数	1 回	講師	千葉県文(師 千葉県文化財課普及管理班 西村 壇
学習内容	土器の解説をして、本物の土岩 勾玉づくりを体験してもらう。	の土器に触るう。	れてもらう。	士器の解説をして、本物の土器に触れてもらう。また、土器模様のしおりづくり、勾玉づくりを体験してもらう。
黄	総額: 5,000円 ※うち参加者負担金:6,000円 内訳:講師料 0円 その他事業費 5,000円	6,000円5,000円	· 英	総額:6,900円 ※うち参加者負担金6,900円 内訳:講師料 0円 その他事業費 6,900円

事業参加者への配慮等

- ・土器解説で興味喚起した後に本物の土器に触れてもらう。・土器模様のしおりづくりは、創意工夫し独自のものとし、大切にしてもらえるようにする。・勾玉づくりでは、手順に従い、全員が完成できるように段階的に進めていく。

- 事業の成果(課題や目標に対して) ・古代の歴史に興味を持ってもらえた。
- ・古代人の生活の大変さがわかり、今の生活の便利さや物の大切さを理解してもらえた。

析

・保護者にも参加していただいたことで、共通認識ができてよかったと思う。

講座名	詰将棋にチャレンジ		
対 象	象 市内在住の小学生		
募集人数 8 人	Υ8	参加人数 6人	Υ9
事業の課題と目標 課 題	[2] 日標		
将棋をな 将棋の勝	・将棋を始めても楽しみ方がわからない。 ・将棋の勝ち方がわからない。		
目 標・詰将棋が	標 語将棋が解けるようになり、将棋を楽しんでもらう。	ت 5 5	

・3手先が読めて、王の詰ませ方がわかり、将棋で勝てるようになる。

集分室	員 1人	3 手詰め詰将棋を解いてもらい、正解者にはお菓子を出す。その際、正解に至るまでの考え方を説明して理解してもらう。	総額:5,838円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 5,838円
学習場所	公民館職員	者にはお う。	黄
-TP	4	難ら	长
	講師	もらい、 理解しても	0 日 0 0 0 日 5,000円
令和5年7月	1 回	3 手詰め詰将棋を解いてもらい、正解者/ までの考え方を説明して理解してもらう。	総額:15,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 10,00 その他事業費 5,
学習期間	回数	学習内容	点

事業参加者への配慮等

- ・3手詰め詰将棋という基本的な問題を出題して、参加者に楽しんでもらう。
 - ・正解したらお菓子を出すことで、参加者のやる気を促す、

事業の成果 (課題や目標に対して)

- ・3手詰め詰将棋を解いて、正解者にお菓子を出すことで、参加者がやる気になって取り組む
 - ことができた。 3 手先が読めるようになり、王の詰ませ方がわかるようになった。

भ

・お菓子を多く用意してしまったので、次回からは控えめにする。 靊

対象	小学生以上の市民			
募集人数	20人		参加人数	12人
事業の課題 課 題 ・将棋愛好 ・せっかく	事業の課題と目標 票 題 ・将棋愛好者向けの最高峰の将棋を体験する機会があまりない。 ・せっかく地域の誇りとなる著名人がいるのに、あまり知られていない。	4颗寸る機(に)ののに、	会があまり; あまり知	ない。 ろれていない。
目 標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目 標 ・将棋愛好者に最高峰の将棋を体験してもらう。 ・地域の誇りとなる著名人から直接学ぶことにより	ノイもらう。 PX にとに。	,	子どもたちに夢を与える。
学習期間	令和5年10月		学習場所	大集会室
回	1回	講師	将棋元アト	マ名人山田敦幹さん
学習内容	将棋元アマ名人による「将棋が強くなる方法」 の大盤解説。また、指導対局を行ってもらう。	将棋が強く 対局を行っ	なる方法」 てもらう。	と題しての講演と思い出の激戦譜
斯	総額:35,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 30,000円 その他事業費 5,000	田 O O O	长	総額:41,600円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 30,000円 その他事業費 11,600円
業参加電 市の将権 中の将権 中戦解記 指導対 市場対	事業参加者への配慮等 ・市の将棋サークルなどに声掛けして、地域はもとより市全体で盛り上げる。 ・自戦解説の大盤操作などを関係者に依頼して、協力体制で盛り上げる。 ・指導対局などがスムースに行われるよう、順番や手合い割などを予め決めてお	て、地域は、 7依頼して、 5よう、順社	もとより市3 - 協力体制 番や手合い	全体で盛り上げる。 で盛り上げる。 馴などを予め決めておく。
事業の成果 ・将棋愛好者 ・将棋のプロ	事業の成果 (課題や目標に対して) ・将棋愛好者にアマ最高峰の将棋を体験してもらい、貴重な学びの場となった。 ・将棋のプロを目指す子もいて、子どもたちに夢を与えることができた。	体験しても ごもたちに	らい、貴重 夢を与える。	な学びの場となった。 ことができた。
無				

講座名		将棋体驗教室 (全3回)			
		小学生以上の市民			
募集人数		10人		参加人数	5人
事業の課題 課 題	題と同	と目標			
・本権の	楽がいる	・将棋の楽しさ、奥深さを体験できる機会があまりない。	機会がある	まりない。	
・ 本 対 様 に が 様	る命の	・ダゼに有等できる人がめまりいない。 ・将棋より他のゲームに関心が向いてしまう。	、トキン。		
皿	1				
・	体験! 単に,	・将棋を体験して、将棋の楽しさ、奥深さをわかってもらう。・将棋を通じて仲間づくりをする。	深さをわれ	かってもら	°C
・	運 に、	将棋を通じて人間性を養う。			
学習期間		令和5年10月		学習場所	休養室2
回	日 8 3 3		講師	市役所職員	市役所職員2人、公民館職員1人
学習内容		際に将棋を指しながら、	タルーバ	基本を学び	実際に将棋を指しながら、ルールや基本を学び、将棋の楽しさ、奥深さを体験する。
产		総額:20,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 20,00 その他事業費 0円	田 0 0 0 0 日 0		総額:20,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 20,000円 その他事業費 0円
事業参加者への配富等	がく	り配膚等			

- 事業参加者への配慮等 ・将棋の基本を教え、基本的な指し方ができるように指導する。 ・詰め将棋などで勝つためのコツを教える。 ・実際に将棋を指して、実践感覚を養う。

- 事業の成果 (課題や目標に対して) ・将棋の基本を理解して、狙いのある手が指せるようになった。 ・将棋の楽しさ、奥深さが体験でき、実践感覚が身につき、楽しんでもらえた。 ・将棋を通じた様々な学びがあり、講師や参加者同士の交流が図れた。

靊

対 象	小学生以上の市民			
募集人数	10人		参加人数	5人
事業の課題 課題 ・ 囲碁を始 ・ 身近に囲・ ・ 囲碁を学・ ・ 田書を学・	事業の課題と目標題・囲碁を始めたくても、ルールが難しくてわからない。・身近に囲碁を教えてくれる人がいない。・囲碁を学ぶより、他のゲームに関心が向いてしまう。・囲碁を始めても、なかなか強くなれず、楽しさを体験できていない。	ンくてわかい ない。 ごが向いて いず、楽し、	うない。 しまう。 さを存験でき	すていない。
田 ・ 囲碁のル ・ 囲碁の海	目標・囲碁のルールを覚えて、実際に打てるようになる。・囲碁の楽しさをわかってもらう。・囲碁を通じて仲間づくりをする。	73 t 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5	° K	
学習期間	令和6年1月		学習場所	老人憩いの家
回数	3 回	講師	/	士囲碁クラブの皆さん
学習内容	テキストを活用して囲碁	の基本を学	び、実践をご	テキストを活用して囲碁の基本を学び、実践を通じて囲碁の打ち方を学ぶ。
掛	総額:20,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 15,00 その他事業費 5,	00円 000円 5,000円	·	総額:15,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 15,000円 その他事業費 0円
事業参加者 ・アキスー ・礼儀作符 ・より多く	事業参加者への配慮等 ・チキスト等を活用して、囲碁の基本ルールを指導する。 ・礼機作法を含めた対局の流れをつかませる。 ・より多くの実践を積んでもらう。	Kルールを打いませる。	記載する。	
事業の成果・実際に囲・囲碁の浄田・囲碁の浄・田寿を通	事業の成果 (課題や目標に対して) ・実際に囲碁が打てるようになった。 ・囲碁の楽しさがわかり、興味を持ってもらえた。 ・囲碁を通じた様々な学びがあり、講師や参加者同士の交流が図れた。	ってもひえば	で。 皆同士の交	前が図れた。
備考				

講座名	防災教室 (パッククッキング教室)	EMT	
本	市内在住小学生		
募集人数	12人	参加人数	11人
事業の課題と 課 題	目標	-	
- 地震や自 - 災害時の	・地震や自然災害が多い中、自分の身の守り方や方法を知らない。・災害時の対応の仕方を知らない。	カや方法を知	らない。
ョ 標・災害時、いがといいがといい	第 ・災害時、簡単に一人でも出来る調理方法を覚えてもらう。いざという時の対応方法を習得する。	道えてもらう	
学習期間	令和5年7月	学習場所	調理室
回数	離 □ [師健康課	
学習内容	災害時など、いざという時に簡単	針に作れるパッ	災害時など、いざという時に簡単に作れるパッククッキングにチャレンジしよう。
海	総額:30,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 10,000円 その他事業 20,000円		総額:5,078円 ※うち参加者負担金2,400円 内訳:講師料 0円 その他事業 5,078円
車業参加者	————————————————————————————————————	-	

- 事業参加者への配慮等 ・低学年の子は保護者同伴にして、安全面に注意した。 ・火を使用したので、大人は細かく目配りをした。

- 事業の成果 (課題や目標に対して) ・紙芝居動画を視聴しながら栄養、災害時に困ること、揃えておくと良い食料や量のお話を聞いて、災害時の事を考える機会ができた。 ・調理の仕方など、実践することによって自信もついた。

析 備

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	クッキング教室		
対象	市内在住成人		
募集人数	78	参加人数	延べ 16人
事業の課題	質と目標		
1			

課 題 ・気軽に趣味を通して交流できる機会が少ない。

- 目 標 ・料理の楽しさを実感してもらう。 ・参加者同士の交流を育む。

合和5年5月~令和5年11月 学習場所 調理室 2回 講師 師 田村純子さん 5月 お惣菜ベン2種類を作成 11月 オートミールクッキーとチャイを作成 総額:29,000円 総額:18,658円 ※うち参加者負担金:0円 ※うち参加者負担金4,800円 内訳:講師料 14,000円 決方参加者負担金4,800円 その他事業費 15,000円 決別:講師料 10,000円 その他事業費 15,000円 大の他事業費 8,658円					
章 師 田村純子さん を作成キーとチャイを作成 ※第:18,658円 ※うち参加者負担金4,0円 ※ 算 解:講師料 10,200円 決 算 内訳:講師料 10,200円	5 星纪	年5月~令和5年	11月	学習場所	調理室
を作成 キーとチャイを作成 総額:18,658円 ※うち参加者負担金4,0円 内限:講師料 10,2の円 その他事業費8,	2回				z A
※第:18,658円 ※うち参加者負担金4,0円 次の円 スの他事業費8,	5月 11月		類を作成 ッキーとチ	ヤイを作成	
	後後に記る記念	:29,000円 5参加者負担金:0F :講師料 14,00	H O O O		658円 負担金4, 10, 業費8,

事業参加者への配慮等

- ・参加者同士で交流を図れるように声掛けをし、質問もしやすいように目配りをした。
 - ・換気、消毒を行った。

事業の成果 (課題や目標に対して)

- ・料理を通して、参加者同士で会話をしながら楽しく交流が図れた。・パン教室では経験者がいたため、進行・後片付けまでスムーズに行えた。半面、教えること に差がついてしまった。

भ 靊

講座名	フラダンス教室 (全2回)	(
対 象	市内在住成人			
募集人数	丫8		参加人数	Υ9
事業の課題と目標 課 題 ・気軽に趣味を通	事業の課題と目標 票 題 ・気軽に趣味を通して交流できる機会が少ない。	きがかない。		
目標・フラダン・参加者同	目標・フラダンスの楽しさを実感してもらう。参加者同士の交流を育む。	, C		
学習期間	令和5年6月		学習場所	大集会室
回 数	1回	講師	米津知絵さん	; h
学習内容	ハワイアンミュージックに合わせて、全2回で1曲踊れるようにする。	に合わせて、	全2回で	1 曲踊れるようにする。
英	総額:20,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 10, その他事業費 10,	H0000		総額:10,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 10,000円 その他事業費 0円

事業参加者への配慮等 ・全身が映る鏡が小さいため、時間ごとに立ち位置を変えて講座を行った。

事業の成果 (課題や目標に対して)

・ダンスの手の動きや曲にそれぞれ意味があることを知り、フラダンスに興味を持ち楽しんで もらえた。

भ 靊

講座名 介護につながる危険信号を見逃さない!フレイル予防講座	対象 市内在住成人	募集人数 10人 参加人数 5人	事業の課題と目標 課 題 ・自分はまだまだ大丈夫と思っているうちに、フレイル状態に陥ってしまう。 ・家にこもりがちな高齢者が増えている。	目標・アレイルについて知る。・フレイルの予防法を学んで実践することによって、心身ともに健康な毎日を送れるようにする。	学習期間 令和6年2月 学習場所 集会室	回数 1回 講師 明治安田生命 薗田菜和さん	学習内容 学習内容 また、介護が必要になった時の費用や備えについても知ることができた。	※額:5,000円 ※額:0円 予算 ※うち参加者負担金:0円 予算:講師料5,000円 決算 その他事業費0円 その他事業費0円	事業参加者への配慮等 ・脳トレなどを行う時は、一人一人に声をかけ、分からない人や遅れる人が出ないようにした。	事業の成果 (課題や目標に対して)・みなさん熱心にメモを取り、フレイル予防の大切さを知ることができた。・最後に「社会参加アクションプラン」をそれぞれが考え、これからのライフスタイルを 思い描くきっかけになった。
講座		参加人数 9人	事業の課題と目標 票 題 ・「相続」は「争族」になることがある。 ・相続のことは、なかなか人には相談しづらい。	目 標・「相続」の基本について学び、「争族」を回避するための準備を始める。 ・ライフプラン・エンディングプランを考える。	学習場所 集会室	師 明治安田生命 宇井さおりさん	相続税や生前贈与、遺言のことなど、相続について学んだ。	総額:0円 ※うち参加者負担金:0円 次 算 ペラち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 0円		事業の成果(課題や目標に対して) ・アンケート結果に「知識が増えた」とあったように、皆さん熱心にメモをとり学んでいた。 ・個別に質問する時間があったため、各々が具体的にライフプラン・エンディングプランを 考えることができた。

対 象 市内在住者 募集人数 20人 事業の課題と目標 課題	朴			
人数 20人)課題と目標 頁	щ			
)課題と目標 質			参加人数	延べ22人
aに興味があっ. さなかったりし.	業の課題と目標 題 英國に興味があってもどうやって始めたらいいか分だ 育たなかったりして、アドバイスが欲しい人が多い。	台めたらいい	いか分かられ	事業の課題と目標 票 題 ・菜園に興味があってもどうやって始めたらいいか分からなかったり、自己流でうまく 育たなかったりして、アドバイスが欲しい人が多い。
標畑の作り方、種まき・ 自分の菜園に生かす。	き・苗植えの方浴 す。	去、肥料の資	異び方・まき	目 標 ・畑の作り方、種まき・苗植えの方法、肥料の選び方・まき方、収穫までを学び、 自分の菜園に生かす。
学習期間 令和5年	令和5年5月~令和5年1	11月	学習場所	視聴覚室・集会室・屋外菜園
数 2回		講師	長谷川則夫さん	さん
学習内容 5月…3 11月…	月に種をまいた 「絹さやえんど	「小松菜」う」と「あ	と「ほうれ、 まうま中か、	…3月に種をまいた「小松菜」と「ほうれん草」の収穫を体験した。 月…「絹さやえんどう」と「あまうま中かぶ」の種まきを体験した。
総額:20, ※うち参加者 内訳:講師料 への他事	000 負担金 業費	用 : 0 円 1 0, 0 0 0 円 1 0, 0 0 0 円		総額:8,755円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 3,755円
事業参加者への配慮等 ・実際に畑で実践する 参加者全員がきちん	業参加者への配慮等 実際に畑で実践する前に部屋で説明をし、終オ参加者全員がきちんと学習できるようにした。	Jをし、終わ ようにした。	つった後も言	事業参加者への配慮等 ・実際に畑で実践する前に部屋で説明をし、終わった後も部屋で質問を受け付けるなど、 参加者全員がきちんと学習できるようにした。
事業の成果 (課題や目標に対して) ・実際に畑での作業を体験できるた ・自分の畑での失敗や疑問なども§	目標に対して) 体験できるため や疑問なども質問	、維みい、第公司できたのに	みの疑問やら、今後のほ	事業の成果 (課題や目標に対して) ・実際に畑での作業を体験できるため、細かい部分の疑問や質問などにも応じることができた。 ・自分の畑での失敗や疑問なども質問できたので、今後の家庭菜園に生かすことができる。

講座名	ョガ教室			
対象	市内在住成人			
募集人数	12人		参加人数	7.7
事業の課題と 課 題 ・自己の健康	事業の課題と目標 票 題 ・自己の健康管理に関心を持つ方が多いが、気軽に習う場が少ない。	50.7站、気料	軽に習う場び	が少ない。
目 標・健康的な・ゆった!	目 標・ ・健康的な身体作りの入り口として、自宅でもできるようにする。 ・ゆったりと全身をほぐし、心身ともに癒す。	亜統なも、 Sに満す。	できるよう	27 8.
学習期間	令和6年1月		学習場所	休養室2
回	1回	講師	小野寺恵子さん	みなっ
学習内容	寒さで凝り固まった身体をゆったりとした動きで全身をほぐす。	をゆったり	とした動き	で全身をほぐす。
下	総額:10,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 5,0	田 O O O O 日 O	·	総額:5,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 0円
車業糸加き	————————————————————————————————————			

- 事業参加者への配慮等 ・久しぶりに身体を動かす方もいることを念頭に置き、無理のない取り組みをする。 ・こまめに水分補給を行った。

事業の成果 (課題や目標に対して) ・床の上や椅子を使って、背骨を中心に全身をほぐす動きをし、身体がすっきりした・ほぐれ たなどの声を頂いた。

垂

備 考 ・当日キャンセル 1人

 英語など 	0楽しさを知ってもらう。 学習場所 仲村和沙さん を取り付け、自分だけのストラップを作成し 総額:8,340円 ※うち参加者負担金2,000円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 3,340円 の配置を工夫した。	10人 と目標 いの楽しさを知る機会が少ない。 中の交流を育みながら、モノづくりの 令和5年9月 にジン液の上に好きなパーツや飾り た。 一次多加者負担金:0円 その他事業費 0円 その他事業費 0円 その他事業費 0円	本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	5いが、気軽に習う場が少ない。 ヨガを自宅でもできるようにする。 2月 学習場所 体養室2 講 師 小野寺恵子さん 講 師 小野寺恵子さん 2
				Ŕ
里のない取り組みをする。	の問題を十十一を	への配慮等ーンを参加者が強があかい。 いが	事業参加者を	OCH NN: mally 13,000円 その他事業費 9,151円
	身 内訳:講師将 5, その他事業費 3,	内訳:講師料 0円 その他事業費 0円	<u></u>	総額:24,151円 ※ 算 ※うち参加者負担金4,600円 ※ は 内部: 端価約、15,000円
・000円 ※額:24,151円 予算 への他事業費の円 決算 への他事業費の円 決値事業費の円 決値事業費の円 決の他事業費の円 本の他事業費の円 本の他事業費の円 本の他事業費の円 本の他事業費の円 事業参加者への配慮等 ・飾りやパーツを参加者が選びやすいように机の配置を工夫した。 ・飾りやパーツを参加者が選びやすいように机の配置を工夫した。 ・飾りやパーツを参加者が選びやすいように机の配置を工夫した。	総額:8,340円 ※った参加者負担金2	総額:0 円 ※こと参加者負担会・0 円		
・していただいた。※額:0円※額:0円※額:84:0円・ 00 0円※ うち参加者負担金:0円※ うち参加者負担金:0円※ うち参加者負担金:0円・ 1本負担金:0円※ うち参加者の配慮等・ 前りやパーツを参加者が選びやすいように机の配置を工夫した。かす方や年齢層のことを念頭に置き、無理のない取り組みをする。・ 前りやパーツを参加者が選びやすいように机の配置を工夫した。		た。		가유건
共効能などの説明と試飲、ゆったりとヨガで身体を動かし心身ともに ※額:0日 ※額:0日 ※額:24,151円 ※第1を加着負担金・0日 ※第1を加着負担金・0日 ※第1を加着負担金・0日 ※第1を加着負担金・0日 ※第1を加着負担金・0日 ※第1を加着負担金・0日 ※第1を加着負担金・0日 ※第1を加着負担金・0日 ※第1を加着負担金・0日 本の他事業費 5,000円 事業参加者小選びやすいように机の配置を工夫した。 かす方や年齢層のことを念頭に置き、無理のない取り組みをする。 ・飾りをパーツを参加者が選びやすいように机の配置を工夫した。	を取り付け、自分だけのストラップを作成し	レジン液の上に好きなパーツや飾り		師 小野寺恵子さん 学習内容
講師	仲村和沙さん	離	教	2月 学習場所 休養室2 回 数
月~令和6年2月 学習場所 体養室2 回数 1回数 講師 体村和沙さん J果効能などの説明と試飲、ゆったりとヨガで身体を動かし心身ともにしていただいた。 ・レていただいた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兼	5年9	習期間	学習期間
知り、薬膳茶の魅力を知ってもらう。 知り、薬膳茶の魅力を知ってもらう。 学習場所 体養室 体養室 中間 数 1回 講師 節 中村和かさへ 月~令和6年2月 学習場所 体養室 1回 講師 節 中村和かさへ 月泉物能などの説明と試飲、ゆったりとヨガで身体を動かし心身ともに いていただいた。 ※額:24,151円 ・ 000円 ・ 000円 ・ 2000円 ・ 2	の楽しさを知ってもらう。	土の交流を育みながら、モノづくりの	・参加者同二	らようにする。
人り口として、ヨガを自宅でもできるようにする。 ・参加者同土の交流を育みながら、モノづくりの楽しさを知ってもらう。 知り、薬膳茶の魅力を知ってもらう。 Pagan Pag				
#会が少ない。 A D D E L C 、 3 J を自宅でもできるようにする。 A D D E L C 、 3 J を自宅でもできるようにする。 A D D E L C 、 3 J を自宅でもできるようにする。 A D D E L C 、 3 J を自宅でもできるようにする。 A D D E L C 、 3 J を自宅でもできるようにする。 A D D E L C 、 3 J を自宅でもできるようにする。 A D D E L C 、 3 J を自宅でもできるようにする。 A D D E L C 、 3 J を自己を適けと対な、ゆったりと3 J で身体を動かし心身ともに		りの楽しさを知る機会が少ない。		
#会が少ない。 #会が少ない。 #会が少ない。 #会が少ない。 #会が少ない。 #会がおきがない。 #会がおきがない。 #会がおきがない。 #ののの円 # # # ののの内 # # # # のののの内 # # # # のののの内 # # # # のののの内 # # # # # のない歌り組みをする。 # # # # # # # # # 1 5.000の円 かか力や年齢層のことを念頭に置き、無理のない歌り組みをする。 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #		Ш	業の課題	業の課題
「		10人		延べ 23人 募集人数
##の時間と目標 ##の表がが、気軽に習う場が少ない。	-		≪	≪
住成人 葬集人数 対象 集人数 対象 集人数 対象 集人数 10人の日本を持つ方が多いが、気軽に習う場が少ない。 事業の表別を持つ方が多いが、気軽に習う場が少ない。 事業の表別を持つ方が多いが、気軽に習う場が少ない。 事業の表別を持つ方が多いが、気軽に習う場が少ない。 事業の表別を担いたと知を持つ方が多いが、気軽に置うをようにする。 事業の表別を担いたと知を持つない。 中華の人の業しきを知る機会が少ない。 中華の人の業しきを知る機会が少ない。 中華の人の業しきを知る機会が少ない。 中華の人の業しきを知る機会が少ない。 中華の人の業の表別を知ります。 中華の人の業の表別を知ります。 中華の人の業の書が表している。 中華の人の第一、企業の出着が適びやすいように別の配置を工夫した。 中華の人の配置等 中華の人の配置等 中華の人の記載等 中華の人のの日本のの日本のの日本のの日本のの日本のの日本の記載等 中華の日本のの日本のの日本のの日本のの日本のの日本のの日本のの日本のの日本のの日本	П	市内在作中学生以上		講座名

 $1 \nearrow$

当日キャンセル

10月実施分

集 業 そ み	講座名	そば打ち体験講習	
募集人数 8人 参加人数 8人 事業の課題と目標 課 題 ・そば打ちに興味があっても、いちから自分で取り掛かるにはハードルが高い。 日 様 ・みんなでそば打ちを学び、自分で打ったそばを食べる楽しさを知る。 学習期間 合和5年11月			
事業の課題と目標 ・そば打ちに興味があっても、いちから自分で取り掛かるにはハードルが高い。 日標 ・みんなでそば打ちを学び、自分で打ったそばを食べる楽しさを知る。 学習期間 令和5年11月 学習場所 調理室 回数 1回 講師 1 しろい環境整のみなさんの実演を交えながらそば打ちを学び 自分で打ったそばを飲食・持ち帰りた。 ※うち参加者自租金・4、000円 ※うち参加者自租金・4、000円 ※うち参加者自租金・1、000円 ※うち参加者自租金・1、000円 ※うち参加者自租金・1、000円 ※うち参加者自租金・1、000円 ※うち参加者自租金・1、000円 ※うち参加者自租金・1、000円 ※うち参加者自租金・2・000円 ※ 算率変加者への配慮等 事業参加者への配慮等 ・ほとんどがそば打ち未経験者だったが、全員が自分のそばを最後まで楽しんで作ることができた。 ・ほとんどがそば打ち未経験者だったが、全員が自分のそばを最後まで楽しんで作ることができた。 ・自分で打ったそばを財食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。 ・自分で打ったそばを財食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。	募集人数	78	∞
日 標 ・ みんなでそば打ちを学び、自分で打ったそばを食べる楽しさを知る。	事業の課題 課 題 ・そば打ち	員と目標 らに興味があっても、いちから自分でF	取り掛かるにはハードルが高い。
学習期間 令和5年11月 学習場所 調理室 回数 1回 講師 加 しろい環境整のみなさんの実演を交えながらそば打ちを学び自分で打ったそばを試食・持ち帰りした。 学習内容 自分で打ったそばを試後を使って、環境整のみなさんの実演を交えながらそば打ちを学び高い着分で打ったそばを自分で持ち帰りした。 ※額:7,901円 予算 ※額:25,000円 ※額:7,901円 本の他事業費 15,000円 ※第55参加者負担金4,000円 事業参加者への配慮等 ・自分で打ったそばを自分で持ち帰るようにした。 事業の成果 (課題や目標に対して) ・自分が打ったそばを試をを設着だったが、全員が自分のそばを最後まで楽しんで作ることがきた。 ・自分が打ったそばを試をして、手作りならではの美味しきを感じることができた。 ・自分が打ったそばを試をして、手作りならではの美味しきを感じることができた。	ョ 標・みんなて		を食べる楽しさを知る。
回数 数 1回 講師 前日とい環境整のみなさんの実演を交えながらそば打ちを学び自分で打ったそばを試食・持ち帰りした。 学習内容 自分で打ったそばを試食・持ち帰りした。 総額:25,000円 ※うち参加者負担金:4,000円 ※うち参加者負担金4,000円 予算 の記慮等 その他事業費 15,000円 ※うち参加者負担金4,000円 事業参加者への配慮等 ・自分で打ったそばを自分で持ち帰るようにした。 ・自分が打ったそばを試をして、手作りならではの美味しさを感じることができた。 ・自分が打ったそばを試食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。 ・自分が打ったそばを試食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。	学習期間	-	_
学習内容 自井産のそば粉を使って、環境塾のみなさんの実演を交えながらそば打ちを学び 自分で打ったそばを試食・持ち帰りした。 総額:25,000円 予算 総額:25,000円 決算 本の他事業費 15,000円 事業参加者への配慮等 その他事業費 2,901円 事業の成果(課題や目標に対して) その他事業費 2,901円 事業の成果(課題や目標に対して) ・自分が打ったそばを試をして、手作りならではの美味しさを感じることができた。 ・自分が打ったそばを試食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。 ・ もかが打ったそばを試食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。		灩	しろい環境塾のみなさん
予 算 総額:25,000円 ※うち参加者負担金:4,000円 ※うち参加者負担金4,000円 その他事業費 15,000円 事業参加者への配慮等 ・自分で打ったそばを自分で持ち帰るようにした。 事業の成果(課題や目標に対して) ・ほとんどがそば打ち未経験者だったが、全員が自分のそばを最後まで楽しんで作ることがきた。 ・自分が打ったそばを試食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。 ・自分が打ったそばを試食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。	学習内容	白井産のそば粉を使って、環境塾の3 自分で打ったそばを試食・持ち帰り	みなさんの実演を交えながらそば打ちを学. した。
事業参加者への配慮等 ・自分で打ったそばを自分で持ち帰るようにした。 事業の成果 (課題や目標に対して) ・ほとんどがそば打ち未経験者だったが、全員が自分のそばを最後まで楽しんで作ることがさた。 ・自分が打ったそばを試食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。 曲 **			総額:7,901円 ※うち参加者負担金4, 等う計解料 5,00 その他事業費 2,
事業の成果 (課題や目標に対して) ・ほとんどがそば打ち未経験者だったが、全員が自分のそばを最後まで楽しんで作ることが、きた。 ・自分が打ったそばを試食して、手作りならではの美味しさを感じることができた。	事業参加者・自分で打	⁵への配慮等 Jったそばを自分で持ち帰るようにしア	°)
	事業の成果 ・ほとんど きた。 ・自分が打	(課題や目標に対して)がそば打ち未経験者だったが、全員が ブラとば打ち未経験者だったが、全員が Tったそばを試食して、手作りならで	f自分のそばを最後まで楽しんで作ることが はの美味しさを感じることができた。

スマホを使いこなせない、持っていてもよく分からない人のためにアドバイザ、から、スマホの基本的な使い方から便利な機能を説明して体験してもらう。

学習内容

ソフトバンク公認スマホアドバイザ

盂

뾆

3

羧

П

休養室 2

集会室

学習場所

令和5年6月~3月

学習期間

総額:0円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円

뺄

氷

総額:5,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円

뺄

严

5,000円

その他事業費

事業参加者への配慮等

E 0

その他事業費

・スマートフォンを持っていない方も学べるように、デモ機を使用した。・途中で分からなくなった時もアシスタントがすぐに対応できる体制をとった。

・スマホを実際に操作しながら、学ぶことができ理解できた。

・基本操作を一通り習得できた。

妣

垂

事業の成果 (課題や目標に対して)

・スマートフォンに切り替えていない方、購入を検討している方、スマホに変えたが操作方法がわからない方がスマホを使えるようになること。

・スマホはシニアにとって馴染みにくく、使いこなすのが難しい。・スマホを使いこなせないことによる、情報の入手量が少ない。・緊急時などの連絡体制に懸念がある。

延べ45人

参加人数

各20人

3月

6, 10,

募集人数

事業の課題と目標

シニアのためのスマホ教室

岙

倒 橅 衣

60歳以上の市内在住者

対象 市内在住成人 事業の課題と目標 事業の課題と目標 ・あまり外出しない方や、 ・あまり外出しない方や、 ・場広い・年齢層の参加者を ・共通の趣味の方と交流出 ・ 学習期間 ・ 数まり外出しない方や、 ・ 場面の趣味の方と交流出 ・ 共通の趣味の方と交流出 ・ 等習内容 ・ 学習内容 トイツのパン菓 ・ 音音で自分の分 ・ 音音で自分の分 ・ 音音で自分の分 ・ 音音で自分の分 ・ 表報:15,0	対集人数 16人 参加人数 16人 事業の親題と目標 ・あまり外出しない方や、交流の場がない方のための場所づくり。 ・あまり外出しない方や、交流の場がない方のための場所づくり。 ・共通の趣味の方と交流出来る(知り合える)きっかけを作る。 ・共通の趣味の方と交流出来る(知り合える)きっかけを作る。 学習期間 令和5年12月 草習財間 令和5年12月 学習内容 ドイツのペン菓子シュトーレンを手作りした。 学習内容 各自で自分の分を作り持ち帰った。 今自で自分の分を作り持ち帰った。 ・	参加人数 16	16人 (16人 (100) (200) (100) (
16人 個と目標 外出しない方や、 本出しない方や、 中齢層の参加者を 令和5年12月 1回 ドイツのパン菓 を自で自分の分 総額:15,0 ※3:た参加を合	交流の場がない方の; 集め、地域活動の参; 来る(知り合える)きへ 子シュトーレンを手 を作り持ち帰った。	参加人数 に800場所 い、交流の特 かかけを作る 学習場所	16人 3くり。 3会を作る。 調理室 さん
商と目標 中齢層の参加者を3 (4和5年12月 1回 11日 (7イツのパン菓 各自で自分の分 総額:15,0 総額:15,0 ※3た参加を色	交流の場がない方の) 集め、地域活動の参) 来る(知り合える)きへ 来る(知り合える)きく (コープンコートーレンを手 でを作り持ち帰った。	にめの場所 11、交流の4 学習場所 (学習場所 (学習場所 (作りした。)	うくり。 *会を作る。 *調理室 さん
中齢層の参加者を ・	集め、地域活動の参) 来る(知り合える)きへ 講	n、交流の4 かけを作る 学習場所 斎藤とし7 作りした。	6会を作る。 調理室 さん
令和5年12月 1回 ドイツのペン菓 各自で自分の分 総額:15,0 ※3た参加を含	講	学習場所 斎藤とし子	調理室 さん
1回 ドイツのパン菓 各自で自分の分 総額:15,0 ※3:た参加を含	講師 にマンコトーレンを手を作り持ち帰った。	強藤とし子 作りした。	かん
ドイツのパン菓 各自で自分の分 総額:15,0 ※3:た参加を含	Fナンュトーレンを手 を作り持ち帰った。	作りした。	
総額:15,0%、これを担める			
*/ いるがもな 内訳:講師料 その他事業	総額:15,000円 ※うち参加者負担金:6,000円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 10,000円	长	総額:14,600円 ※うち参加者負担金9,600円 例訳:講師納 5,000円 その他事業費 9,600円
事業参加者への配慮等 ・参加者同士で交流が出来るように声掛け、 ・作業がスムーズにいくように、サポートを		目配りをした。した。	
事業の成果 (課題や目標に対して)・経験者もいた為、作業もスムー・班ごとに協力し合いながら作業・合間の時間に参加者同土、情報	事業の成果(課題や目標に対して) ・経験者もいた為、作業もスムーズに進んだ。 ・班ごとに協力し合いながら作業や片付けができていた。 ・合間の時間に参加者同土、情報交換をして交流を深めていた。	きんいた。 売を深めた	から、

講座名	普通救命講習会		
対象	市内在住中学生以上		
募集人数	12人	参加人数	Υ9
事業の課題と目標 課 題 ・突発的な事故及	事業の課題と目標 票 題 ・突発的な事故及び災害時の教命対応・手順を習得する機会が、	:習得する機	会が、日常生活では少ない。
目標・AEDの」・家族や住	目 標 ・AED の正しい操作方法を学び、迅速な初期対応を可能にする。 ・家族や住民の命を守る知識とスキルを習得し、非常時にも慌てず対応できるようにする。	対応を可能に、非常時に、	.する。 も慌てず対応できるようにする。
学習期間	令和5年9月	学習場所	大集会室
回数	1回 ■ ■	[西白井消防署	坊署 職員
学習内容	AED の使用体験・心肺蘇生法、気道異物除去法や止血法を学んだ。	道異物除去沒	5や止血法を学んだ。
产	総額:5,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 0円	长草	総額:0円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 0円
事業参加者・時間が長	事業参加者への配慮等 ・時間が長かったので、2回休憩を挟んだ。		
事業の成果 ・AED を 知識だけ	事業の成果(課題や目標に対して) ・AED を含めた教急時の対応を、見学するだけ 知識だけではなく身体で覚えることができた。	けでなく実際で	見学するだけでなく実際に何度も体験することにより、 ことができた。

備 考 ・講座参加者には、後日、消防署よりカード式の「救命講習修了証」を発行。

(2) 市内在 (2) 市内在 (2) 市内 (3) 市内 (4) 市内 (5) 市内 (5) 市内 (6) 市内 (7) 市内 (7) 市内 (8) 中央 (9) 市内 (10) 市場 (10) 中央 (10) 中央			
募集人数 8人 事業の課題と目 課題 ・千葉のふるさ ・飾り大巻き寿	市内在住成人		
<u>きの課題と目れる</u> 題 <u>薬のふるさまですの大巻き寿</u>		参加人数	8 \
]	事業の課題と目標 課 題 ・千葉のふるさと料理でもある太巻き寿司のことを知る機会が少ない。 ・飾り太巻き寿司に興味があっても、自分ではなかなか作れない。	とを知る機会	きが少ない。 ぴない。
標 59 太巻き寿: Jったときの	目 標・飾り太巻き寿司のことを知る。 ・切ったときの出来上がりをイメージして、楽しみながら作る。	みながらん	й °
学習期間 令和	令和5年7月	学習場所	調理室
数 1回		中村 喜亻	喜代子さん
学習内容 「椿	「椿の花」と「四海巻き」を1本ずつ作った。	つ作った。	
離 禁 ※ 数 ※ 女 と は かい は	総額:22,000円 ※うち参加者負担金:4,000円 内訳:講師料 7,000円 その他事業費 15,000円		総額:13,875円 ※うち参加者負担金4,000円 内訳:講師料 5,000円 その他事業費 8,875円
事業参加者への配慮等 ・自分で作った分は自	業参加者への配慮等 自分で作った分は自分で特ち帰って食べるようにした。	5 にした。	
色の成果(課 群に教わり れぞれの出	事業の成果 (課題や目標に対して) ・講師に教わりながら、楽しく作ることができた。 ・それぞれの出来上がりを見ることで、参加者同士の交流ができた。	で。四十の交流が	が と が が た に に た に た に た に た に た に た に た に た
析			

対 象 市内在住 中学生以上 参加人数 10人 事業の課題と目標 事業の課題と目標 課題 ・「お手本通りに上手に書く」という固定概念を取り払うことが難しい。 自分だけの書を完成させる。 学習場所 集会室 学習期間 令和5年9月 学習場所 無公とを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 学習内容 筆ペンを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 ※第11回 ※額:19,460円 ※方ち参加者負担金:0円 ※うち参加者負担金:0円 ※うち参加者負担金:0円 ※ するの他事業費 事業参加者ばかりだったので、講師がひとりひとり丁寧に声をかけ、見て回った。 事業の成果 (課題や目標に対して)	講座名	己書体験幸座			
募集人数 16人 事業の課題と目標 事業の課題と目標 ・ 「お手本通りに上手に書く」という固定概念を取り払うことが、書き方や書き順、字のうまさにとらわれることなく、描くこと・自分だけの書を完成させる。 学習期間 令和5年9月 学習場所 集会 学習内容 筆ペンを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 学習内容 筆ペンを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 学習内容 筆のもず着負担金:0円 ※ うち参加者負担金:0円 ※ うち参加者自担金:0円 ※ うち参加者自担金:0円 事業参加者 ・ ・ ・ ・ 申請 事業参加者 ・ ・ ・ 申請 ・ 申請 事業参加者 ・ ・ ・ ・ ・ 申請 申請					
事業の就題と目標 ・「お手本通りに上手に書く」という固定概念を取り払うことが ・書き方や書き順、字のうまさにとらわれることなく、描くこと ・自分だけの書を完成させる。 学習期間 令和5年9月 学習内容 第ペンを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 学習内容 第ペンを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 ・ 類 ※うち参加者負担金:0円 ・ 類 ※シち参加者負担金:0円 ・ 類 ※シち参加者負担金:0円 ・ 類 ※シち参加者貸力の下ので、講師がひとりひとり 事業参加者への配慮等 ・ 000円 ・ 初めて体験する参加者ばかりだったので、講師がひとりひとり 事業の成果 (課題や目標に対して)	募集人数	9		参加人数	10人
 ・書き方や書き順、字のうまさにとらわれることなく、描くこと・自分だけの書を完成させる。 「学習期間 令和5年9月 講師 藤吉 初充さん学習内容 筆ペンを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 ・学習内容 (※3,000円 ※5 から参加者負担金:0円 ※5 がうち参加者負担金:0円 ※5 がうち参加者負担金:0円 ※5 がりがったの形成・ 第師がひとりひとり。 ・ 算 をかままままままままままままままままままままままままままままままままままま	事業の課題 課 題 ・「お手本	目標りに上手に書く」	う固定概念で	を取り払う、	ことが難しい。
学習期間 令和5年9月 講師 #告 回数 1回 講師 #市 がたさん 学習内容 筆ペンを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 ※額:23,000円 ※う参加者負担金:0円 ※う ・うち参加者負担金:0円 ※う ・方を加着負担金:0円 ※う ・うち参加者自担金:0円 ※う ・初めて体験する参加者ばかりだったので、講師がひとりひとり。 事業の成果 (課題や目標に対して)		MI	うわれるこ	となく、描	くことを楽しむ。
回数 1回数 1回 講師 師 藤吉 初充さん学習内容 筆ペンを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 学習内容 総額:23,000円 ※うち参加者負担金:0円 ※うち参加者負担金:0円 予算 内訳:講師料 18,000円 決算 次 算 本 事業参加者への配慮等・初めて体験する参加者ばかりだったので、講師がひとりひとり。 事業の成果 (課題や目標に対して)	学習期間			学習場所	集会室
学習内容 筆ペンを使って、それぞれの作品を楽しんで描いた。 ※額 総額:23,000円 ※うち参加者負担金:0円 決 算 ※うち参加者負担金:0円 決 算 本の他事業費 5,000円 申報 中初めて体験する参加者ばかりだったので、講師がひとりひとり。 申業の成果 (課題や目標に対して)		1回			さなん
 総額:23,000円 予算 ※うち参加者負担金:0円 ※うち参加者負担金:0円 ※うち参加者負担金:0円 ※うち参加者負担金:0円 ※うち参加者(かりだったので、講師がひとりひとりで初めて体験する参加者ばかりだったので、講師がひとりひとりで事業の成果(課題や目標に対して) 	学習内容	筆ペンを使って、それぞう	れの作品を	楽しんで描	. کار بار
事業参加者への配慮等 ・初めて体験する参加者ばかりだったので、講師がひとりひとり 事業の成果 (課題や目標に対して)		総額:23,000円 ※うち参加者負担金:01 内訳:講師料 18,0 その他事業費 5,	E0000.		総額:19,460円 ※うち参加者負担金 11,000円 内訳:講師料 11,000円 その他事業費 8,460円
事業の成果(課題や目標に対して)	事業参加者・初めて体!	への配慮等 験する参加者ばかりだった	.ので、講師	がひとりひ	とり丁寧に声をかけ、見て回った。
・最初は「自由に描く」ことに戸惑いが見られたが、講師の声掛けやアドバイスで、個性あふっァイルロキシン・カエージャントンジェキ	事業の成果・最初は「	: (課題や目標に対して) 自由に描く」ことに戸惑いませ、 シェージャー	いが見られた	こが、講師の)声掛けやアドバイスで、個性あふ

- れる作品を楽しんで仕上げることができた。 ・他の参加者の作品を見ることで、参加者同士の交流もうまれた。

镰

81

講座・学習プログラム【団体育成】

講座名	世代間交流会 (グランドゴルフ)		
対象	市内在住者		
募集人数	50人	参加人数	40人
事業の課題	題と目標		

圍

・同一地域に住む子どもたちと高齢者が交流を深める機会が少なくなっている。

Ш

・グラウンドゴルフ大会で、子どもから高齢者までの混合チームが一緒に行うことにより、参加者同士が協力し合い、楽しみながら交流を深める。

 学習期間	令和5年11月		学習場所	第三小学校 校庭	
回数	1回	講師			
 学習内容	1チーム4~5人で8チームを結成。 説明をしてから事前練習を行い、8 xx	- ムを結成。 ど行い、8 %	, 4-7-х	1チーム4~5人で8チームを結成。 説明をしてから事前練習を行い、8 ホール×2ゲームの合計スコアで順位を決定。	
 子	総額:50,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 50,000円	9000円	状質	総額:38,307円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師新 0円 その他事業費38,307円	

事業参加者への配慮等

- ・子ども、成人、高齢者の混合チームを予め決めておき、色々な世代が交流出来るようにした。 ・参加者の負担を減らす為に、地域高齢者クラブのボランティアに審判、スコアの記入をお願 いした。

- 事業の成果 (課題や目標に対して) ・チームを組むことにより、協力しながらプレー出来た。 ・チーム内で交流を深め、楽しくグラウンドゴルフが出来た。

- ・グラウンドゴルフの道具は事前に予約をして市役所、ふじこども園より借用した。・第三小学校の校庭、体育館を借用した。

講座名	富士センター音楽祭			
対 衆	—般			
募集人数	市内8団体(個人)・自由参加	参加	参加人数	出演者:市内8団体(個人) 参加者:220人
事業の課題と目標 課 題 ・市内の演奏者が ・音楽を通じて地	事業の課題と目標 果 題 ・市内の演奏者が日頃の成果を発表する機会があまりない。 ・音楽を通じて地域交流する機会があまりない。	する機会があるまりない。	ちまりない。	
日 ・ 演奏者に ・ 音楽を通	1 標・ ・演奏者に発表する機会を与え、地域を盛り上げる。・音楽を通じた地域交流を図る。	或を盛り上い	°° Z	
学習期間	令和5年9月		学習場所	大集会室ほか
回数	1 回	講師		
学習内容	様々な音楽活動をされている方々によるコンサートを開催する。	いる方々に、	よるコンサ	ートを開催する。
子	総額:250,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 250,0	田 000		総額:20,102円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:出演料 10,000円 その他事業費10,102円

事業参加者への配慮等

- ・出演者との打合せやリハーサルを十分に行い、当日支障のないよう配慮する。・センターの職員や理事の役割分担を明確にして、全員体制で行うようにする。・出演者との協力により、楽しんでもらえるような曲目や演出を考える。

事業の成果 (課題や目標に対して)

- ・当日の演奏や会場運営がスムーズに行われた。・音楽を通じた地域交流が図れ、地域を盛り上げることができた。

भ 靊

講座名	富士クリスマスフェスタ			
対象	市内在住者			
募集人数	自由参加		参加人数	270人
事業の課題と目標 課 題 ・地域交流の機会	事業の課題と目標	°		
田 ・クリスマ い交流を	標 クリスマスを盛り上げる場を設け、地 い交流を深めてもらう。	或住民、	子どもから	目 標 ・クリスマスを盛り上げる場を設け、地域住民、子どもから大人、高齢者の方に集まってもら い交流を深めてもらう。
学習期間	令和5年12月		学習場所	大集会室
回数	1 □	监		
学習内容	合唱、キッズダンスの発表、じねんじゃーと一緒に○×クイズ、 ッキー(ダンス)、じゃんけん大会。	じねん 大会。	-7-47	緒に○×クイズ、ジャンボリーミ
崇	総額:50,000円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 0円 その他事業費 50,00	日000	· (英	総額:50,540円 ※うち参加者負担金:0円 内訳:講師料 1,620円 その他事業費 48,920円
事業参加者 ・出演者と ・控室を用	事業参加者への配慮等 ・出演者と事前打ち合わせを行い、当日 ・控室を用意した。	ストーン	べに進行す	当日スムーズに進行するようにした。
事業の成果・参加者を・前回より	事業の成果 (課題や目標に対して) ・参加者も多く集まり、地域交流、世代間交流が出来た。 ・前回より参加人数も増えて、楽しんでもらえた。	間交流だものネガ	が出来た。た。	
備 考 ・駐車場か	備 考 ・駐車場が満車になってしまったので、次回は臨時駐車場も検討。	次回は題	 臨時駐車場	5.検討。

トイトイランド	乳幼児親子	延べ乳幼児25人・大人21人	事業の課題と目標 票 題 ・核家族化や地域関係の希薄化で地域社会との交流が少ない。 ・同世代の子を特つ親子の交流が少ない。	事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	令和5年6月~11月 回数 3回	視聴覚室	トミカ、プラレール、シルバニアファミリー、リカちゃん人形で描ぶ。	事業参加者への配慮等 ・怪我や事故のないように細心の注意を払う。 ・初めての参加者にも馴染めるように楽しい雰囲気作りを心掛ける。	事業の成果(課題や目標に対して) ・参加者同士の交流を図ることができた。	
事業名	対象	参加人数	事業の課題と目標 課 題 ・核家族化や地域 ・同世代の子を持	目 標・普段とは	期	場所	事業内容	事業参加者 ・怪我や事 ・初めての	事業の成果・参加者同二	龍

事業名		ハッピーハロヴィーン		
女祭	.mV	乳幼児~高校生		
参加人数		113人		
事業の課題と目標 課 題 ・季節を感じ、楽	園?	事業の課題と目標 課 題 ・季節を感じ、楽しめる行事が少ない。		
田 ・ハロウン ・参加者同	✓ 同	目 標 ・ハロウィーンを楽しみ、季節の移り変わりを感じてもらう。 ・参加者同士で交流し、地域の輪を広げる。	o	
期間		令和5年10月 回	教	1 回
場所	11-	大集会室		
事業内容	f/L	ゲームコーナー、工作コーナー、フォトスポッ	1-1-1	フォトスポットコーナー、ビンゴ大会
事業参加者への配慮等 ・会場を乳児から大人	を 影	業参加者への配慮等 会場を乳児から大人までが楽しめる雰囲気にした。		
事業の成果・行事を通	単 通	業の成果(課題や目標に対して) 行事を通して参加者同士の交流を図ることができた。		
盖				

7117	クリスマス会
小学生	生
1 6	16人
事業の課題と目標 課 題 ・季節を感じ、楽 ・核家族化や地域	事業の課題と目標 開題・・本節を感じ、楽しめる行事が少ない。 ・・核家族化や地域関係の希薄化で地域社会との交流が少ない。
をできる。	目標・クリスマスを楽しみ、季節の移り変わりを感じてもらう。・参加者同士で交流し、友だちを作る。
令	令和5年12月 回数 1回
調理	調理室
+	サンタのパンケーキ作りをしたあと、〇×クイズ、お菓子掴み
() Y	- 事業参加者への配慮等 ・輪に入れない子がいないように馴染めるような雰囲気作りをした。
(課) (作り) (イペ	事業の成果 (課題や目標に対して) ・パンケーキ作りでは、高学年が低学年をサポートする姿も見られ、楽しく調理することができた。 きた。 ・行事を通して季節を感じることができた。

事業名	体育館で遊ぼう		
対	幼児~高校生		
参加人数	延べ48人		
事業の課題と目標 課 題 ・仲間作りの場、	事業の課題と目標 票 題 ・仲間作りの場、気軽に集える場所が少ない。 ・運動が苦手な子や体を動かすことに意欲的でない子が多い。	° 23	
日 標・異学年と ・ 華段遊べ	1 標・・異学年との交流を図る。・普段遊べない体育館で体を思い切り動かす。		
期間	令和5年8月·令和6年1月	回	2 田
場所	大集会室		
事業内容	【8月】バドミントン、卓球、フラフープ、大縄跳び、跳び箱で遊ぶ。 【1月】子ども達が作った大きな絵札でカルタ取り。	大縄跳び、タ取り。	眺び箱で遊ぶ。
事業参加者への配慮等 ・怪我のないよう、ル ・楽しく参加できるよ	事業参加者への配慮等 ・怪我のないよう、ルールを守るように声掛けをした。 ・楽しく参加できるような雰囲気作りをした。		
事業の成果 ・相手を気 ・普段でき	事業の成果 (課題や目標に対して) ・相手を気遣う言葉掛けや喜びを共に分かち合う姿が見られた。 ・普段できない遊びをして思い切り体を動かすことができた。	れた。	
華			

・エスティバル		(大人1, 027人、子ども1, 117人)	 事業の課題と目標 東題 ・センターを利用するサークルの発表の場があまりない。 ・地域住民、地域ボランティア、各サークルが一同に会して、交流する機会があまりない。 ・地域交流の場としてのセンターの存在価値があまり理解されていない。 目標 ・各サークルの活動の成果発表の場を提供する。 ・地域住民が一同に会して、交流して、楽しんでもらう。 ・地域住民が一同に会して、交流して、楽しんでもらう。 ・地域住民が一同に会して、交流して、本しんでもらう。 			実行委員会方式によりセンターを利用している各サークルの成果発表や展示、バザー、模擬店、児童コーナーなど、様々な催しを行い、地域交流の輪を広げる。	事業参加者への配慮等 ・食品を扱う人の大腸菌検査、保健所、消防署への届け出により、事故を未然に防ぐ。 ・各サークルによる実行委員会により、自主性を尊重した積極的な運営を行う。 ・各年代の方が楽しく参加できるような企画を検討する。	
事業名 第33回富士センターフェスティバル	対 象 一般	参加人数 2,144人 (大人1	 事業の課題と目標 ・センターを利用するサークルの発表の場があまりない。 ・地域住民、地域ボランティア、各サークルが一同に会して、3・地域交流の場としてのセンターの存在価値があまり理解され。 ・ 地域交流の場ととてのセンターの存在価値があまり理解され。 ・ セークルの活動の成果発表の場を提供する。 ・ 地域住民が一同に会して、交流して、楽しんでもらう。 ・ 地域在民が一同に会して、交流して、楽しんでもらう。 ・ 地域在民が一同に会して、交流して、楽しんでもらう。 	期 間 令和6年3月	場所施設全域	事業内容 実行委員会方式により、ザー、模擬店、児童コ	事業参加者への配慮等 ・食品を扱う人の大腸菌検査、保健所、消防署への届け出 ・各サークルによる実行委員会により、自主性を尊重した ・各年代の方が楽しく参加できるような企画を検討する。	事業の成果(課題や目標に対して)

事業名	ᄺ	美化交流会			
女	≪	地域住民			
参加人数	数	延べ48人			
事業の課題と 課 題 ・地域住民が	題() () () () () () () () () () () () () (事業の課題と目標 票 題 ・地域住民が身近に感じ、利用できるよう冨士センターの業務を周知する必要がある。	0業務を/	周知	する必要がある。
田 ・ 出 ゴニュ	中川	目 標・地域の中核としての富士センターを地域のボランティアの手を借りて清掃、整備し、身近なコミュニティ施設を目指す。	の手を作	4	て清掃、整備し、身近な
開開	E	令和5年5月、11月	回	教	2回
場所	开	富士センター入口及び、敷地内建物周辺			
事業內容	-1Xts	富士センター入口、建物周りの草取りやプランターへの花植え作業を、職員やボランティアのみなさんとともに実施。	1. A.	6	花植え作業を、職員や
事業参加 ・	をい。	 事業参加者への配慮等 ・地域ボランティア、利用者、利用サークル、団体にも呼びかけを行った。	すびないけ	谷	った。

・作業後、慰労交流会を行い、参加者同士交流を深める機会を設けた。

事業の成果 (課題や目標に対して) ・センター入口やプランターに花の植え付けやセンター周りの除草を行った。共同作業で参加 者同士のつながりを深めるとともに、季節の草花がセンターを彩り、来館者の目を楽しませ た。センターが綺麗になり清潔感がでた。

浟 無

			きがあまりない。 5まりない。		月 回 数 5回		地域住民が集まり、懐かしの名作映画などを鑑賞する。	事業参加者への配慮等 ・映画を楽しんでもらえるよう、あまり干渉せず、写真撮影なども極力控える。 ・上映する映画は参加者からのリクエストにより決める。	次, 人 小 小 小 小
映画鑑賞会	市内在住者	延べ 65人	事業の課題と目標 課 題 ・地域住民が集まって映画を楽しむ機会があまりない。 ・映画を観ながら、交流を図る機会があまりない。	目 標・地域住民が集まって、映画を楽しむ。 ・映画を観ながら、交流を図る。	令和5年5月~令和6年1	老人憩いの家	地域住民が集まり、懐かる	事業参加者への配慮等 ・映画を楽しんでもらえるよう、あまり干渉せず、写真指・ ・上映する映画は参加者からのリクエストにより決める。	事業の成果 (課題や目標に対して) ・地域住民が集まって映画を楽しむことができた。
事業名	女祭	参加人数	事業の課題と目標 課 題 ・地域住民が集ま	車標・地域住民が・映画を観が	開	場所	事業內容	 事業参加者への配慮等 ・映画を楽しんでもら ・上映する映画は参加	事業の成果・地域住民が

事業名	音楽鑑賞会
対象	市内在住者
参加人数	延 六 10人
事業の課題と目標課題題・コロナ禍などの静かに音楽を聴	事業の課題と目標 票 題 ・コロナ禍などの影響から、ストレスを抱えている人が多い。 ・静かに音楽を聴いて、心を癒し、ゆっくり過ごす機会があまりない。
田・音楽を聴! ・音楽を聴!	日 標・音楽を聴いて、穏やかでゆっくりした時間を過ごしてもらう。 ・音楽を聴くことで、心を癒し、日頃のストレスを解消してもらう。
期間	令和5年7月~令和6年2月 回数 3回
場所	老人憩いの家
事業内容	参加者からのリクエストを優先して音楽を流し、穏やかでゆっくりした時間を過ごしてもらう。
事業参加者への配慮等・音楽を聴いて、穏や・ 真撮影なども極力控・リクエスト曲を流し	業参加者への配慮等 音楽を聴いて、穏やかでゆっくりした時間を過ごしていただけるよう、あまり干渉せず、写 真撮影なども極力控える。 リクエスト曲を流して、想いを共有することで、音楽を通じた交流が図れるようにする。
事業の成果 (記・音楽を聴いて・リクエスト曲とができた。	事業の成果(課題や目標に対して) ・音楽を聴いて、穏やかでゆっくりした時間を過ごしてもらった。 ・リクエスト曲を流して、想いを共有することで、参加者同士の想いが繋がり、交流を図ることができた。
備考	

	4			・ひとり暮らしで生活にメリハリがなくなったり、家に閉じこもりがちになったりする高齢者が増えている。	防ぐ。	3月 回 数 10回	-	おしゃべりをしたり情報交換をしたり、楽しく有意義な時間を過ごす。	を用意している。	が増えている。 しんでいる。
		(A)	(Y) (東	っしで生活にメリハリがな いる。	目 標・仲間・居場所を作り、閉じこもりを防ぐ。	令和5年5月~令和6年3	休養室2	おしゃべりをしたり情報	 事業参加者への配慮等 ・和室での開催だが、イスとテーブルを用意している。	事業の成果 (課題や目標に対して) ・少しずつではあるが、新しい参加者が増えている。 ・色々な会話で盛り上がり、会話を楽しんでいる。
K	太 本 素 ※	W/H/大数	事業の課題と目標 課 題	・ひとり暮らして が増えている。	目 標・仲間・居	開開	場所	事業内容	 事業参加者への配慮等 - 和室での開催だが、	事業の成果 ・少しずつ、 ・色々な会

事業を	谷	ふじっこダイニング
女	參	市内在住小・中学生
参加人数	教	延べ138人
事業の課題と目標 課題 ・色々な学年の子	題	事業の課題と目標 票 題 ・色々な学年の子が、一緒にご飯を食べたり遊んだりする機会が少ない。
田 ・ ・ 一 を 手 が 手	が 対 2	目 標・一人でご飯を食べる子どもを減らし、子どもたちの居場所づくりをお手伝いする。 ・一人でご飯を食べる子どもを減らし、子どもたちの居場所づくりをお手伝いする。 ・食事や遊びを通して、子ども同士やボランティアとの交流を深める。
単	=	令和5年6月~令和6年3月 回数 9回
滑	拒	調理室・大集会室
事業内容	松	みんなで一緒にご飯を食べた後、大集会室で一緒に遊んだ。
事業参加 ・怪我の ・声掛け	着なった。	事業参加者への配慮等 ・怪我のないよう、安全確保に努めた。 ・声掛けしたりして、楽しく食事できるように努めた。
事業の成果 ・学年の違 ・最初のこ も段々とご	単道 これ かん	事業の成果(課題や目標に対して) ・学年の違う子どもたちが同じテーブルで食事をしたり、一緒に楽しく遊んだりしている。 ・最初のころはあまり会話がなかったが、子ども同土だけでなく、ボランティアとの会話 も段々と増えてきた。
備	stop	

			機会が減っている。	る場を設ける。	回 数 8回		手作りのお昼ご飯を食べながら、懇談や情報交換をして、参加者同士の交流を深めてもらう。	おした。 よ		
シニア食堂	市内在住概ね70歳以上	延べ150人	事業の課題と目標 課 題 ・地域住民が気軽に集う場が少ない。 ・一人暮らしの高齢者が増え、大人数で食事をする機会が減っている。	目 標 ・外に出る機会を作り、多くの人と食事や会話をする場を設ける。 ・食事を通じて、地域住民の交流を図る。	令和5年6月~3月	休養室 2	手作りのお昼ご飯を食べながら、懇談そめてもらう。	 事業参加者への配慮等 ・ 常にボランティアの方が参加者に話しかけるようにした。 ・ 対面での食事で会話しやすい環境を作った。	事業の成果 (課題や目標に対して) ・参加者同士、会話が弾み食も進んでいる。 ・毎月、楽しみにしている参加者が多数いる。	
事業名	対象	参加人数	事業の課題と目標 課 題 ・地域住民が気軽 ・一人暮らしの高	目 標 ・外に出る機 ・食事を通じ	期崩	場所	事業内容	事業参加者への配慮等 ・常にボランティアの ・対面での食事で会話	事業の成果 ・参加者同士 ・毎月、楽し	

事業名	子ども居場所づくり(早朝預かり)
女參	第三小学校 低学年児童
参加人数	
事業の課題と目標 期 題 超	と目標
・児童の登	^^ ・児童の登校前に出勤しなければならない勤労世帯にとって、児童を一人家に残すことへの
不安がある。 ・学校と地域B	不安がある。 学校と地域団体が連携する機会があまりない。
目 標・登校前の別	目 標・発校前の児童を預かることにより、児童の安全を確保し、勤労世帯が安心して働きにいける
こと。 ・早朝預か	こと。 早朝預かりにより、学校と地域団体の連携が図れること。
削 崩	令和5年4月~令和6年3月
場所	児童ルーム
事業内容	子どもの登校時間まで児童ルームで一緒に過ごし、登校時間になったら送り出す。 す。 慣れるまで、一緒に学校まで見送る。
事業参加者への配慮等 ・常にボランティアが	事業参加者への配慮等 • 常にボランティアが一緒に行動し、子どもの安全を最優先する。
事業の成果	(課題や目標に対して)
備 考 ・令和5年度実績なし	度実績なし